



決算報告

平成 28 年度決算が認定されましたので、町民の皆様が納めた税金や、国・県からの補助金がどのように使われたかを報告します。

景気の低迷など、取り巻く社会情勢は厳しさを増し、財政状況は厳しいものとなっています。

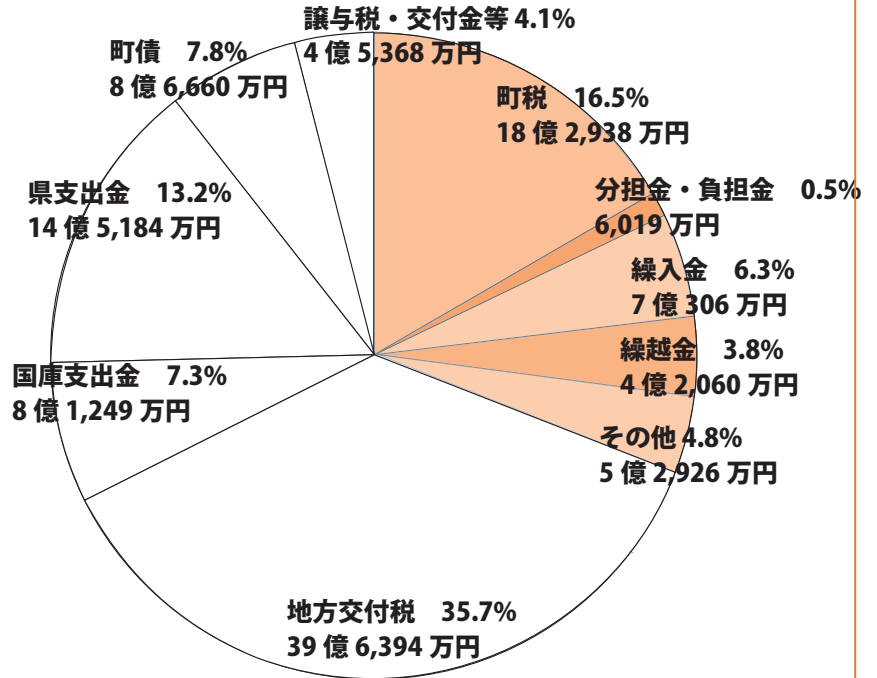
一般会計 歳入

110 億 9,106 万円

自主財源 = 31.4%

歳入総額は前年より 1 億 8 千万円減りました。

平成 27 年度決算と比べると、町税が約 2 億 5 千万円、地方交付税が約 2 億 4 千万円減少し、繰入金が約 2 億 4 千万円、町債が約 1 億 2 千万円の増加となっています。



平成 28 年度決算と厳しさを増す今後の財政見通し

平成 28 年度決算では、歳入が歳出を上回っていますが、実際は歳入不足を補うために町の貯金である基金を取崩しているため、実質単年度収支についてはマイナスの 2 億 6,351 万円となり、実質的な赤字となっています。

今後については、人口の減少、税収の伸び悩み、また合併による財政上の優遇措置については更に段階的に縮減されていくため、厳しい財政状況が続きます。現状の体制で事業を継続していくと、町の代表的な貯金である財政調整基金（※）が底をつく見通しとなってしまいます。

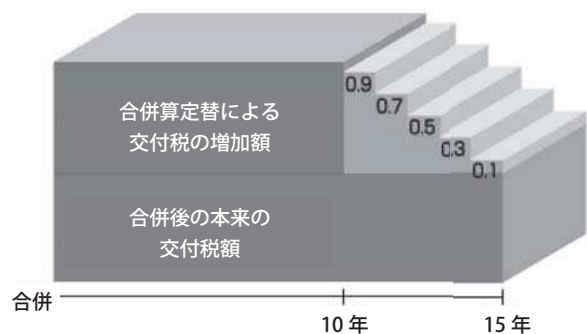
このような見通しに対応していくため、現在、行財政改革懇談会等を設置して様々な行財政改革について検討しており、来年度以降、事業内容の見直し、施設の統廃合、運営方法の変更、歳入財源の確保などを計画的に進めていきます。

※財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金（平成 28 年度末残高は約 6.8 億円）

地方交付税の縮減について

若狭町の収入の約 3 割を占める地方交付税（普通交付税）は、合併のメリットにより増額されていましたが、合併から 10 年を経過し、5 年間かけて縮減されていきます。

平成 32 年度には増加分はなくなるため、財政にも大きな影響があります。



支出は住民一人あたり約 69 万円、世帯あたり約 211 万円

平成 28 年度一般会計の歳出を見ると、106 億 7,249 万の支出となり、住民一人当たり約 69 万円、1 世帯あたり約 211 万円が使われたこととなります。

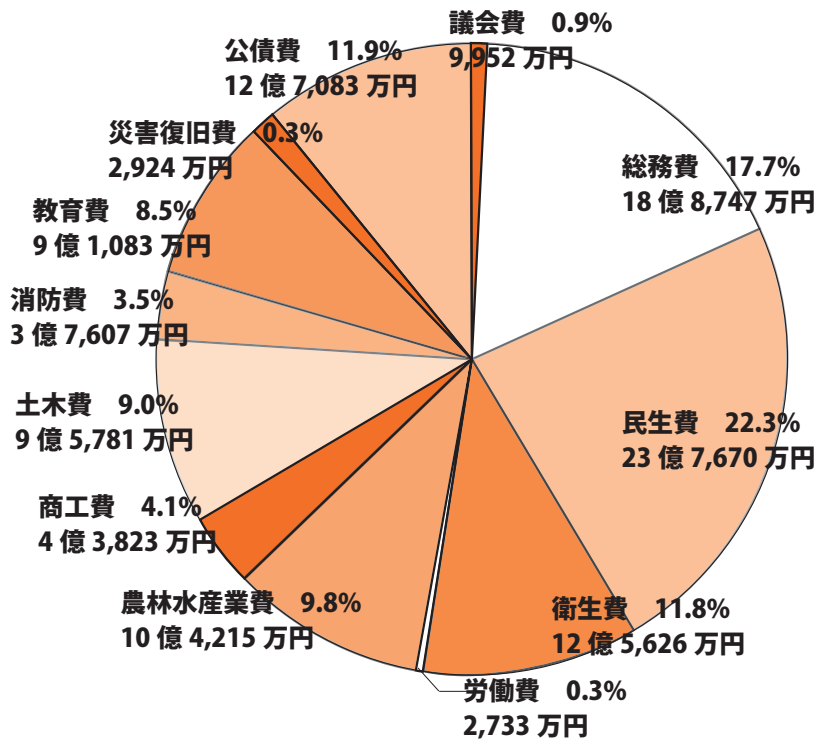
一般会計 歳出

106 億 7,249 万円

歳出総額は前年より約 1 億 8 千万円減りました。

財政調整基金積立金や農地集積事業、地方債償還金が減少し、特に総務費と農林水産業費、公債費が減少しています。

歳入から歳出と翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支は、3 億 9,114 万円となりました。



平成 28 年度の主な事業

小中学校の ICT 設備が整備されました



学校にタブレット PC やノート PC、ファイルサーバやグループウェアを整備し、情報の共有化、情報教育環境の向上が実現しました。

リブラ若狭が完成しました



中央公民館、図書館三方館の耐震補強やリフレッシュ工を行い、子育て支援センターの機能も追加された複合施設が整備されました。

地域おこし協力隊が活躍しています



5 名の隊員が、道の駅「三方五湖」運営、特産品開発、梅生産加工・販売拡大、移住定住・空き家対策などの分野で活躍しました。

町道 18 号線が完成しました



上中駅から上中体育館、上中中学校を結ぶ道路が整備され、利便性の向上とともに、通学者や体育館利用者の安心安全な環境が整備されました。

〔数値について〕※広報では、万円単位で表示している関係上、端数が一致しない場合があります。
※一人あたり、世帯あたりは 5 月 1 日の人口・世帯数で除算しています。



財政健全化法に基づき算定した健全化判断比率および資金不足比率を公表します。平成 28 年度決算に係る指標は、いずれも基準を下回っていますが、将来の町の財政を圧迫しないよう、財政の健全化につとめていきます。

■健全化判断比率

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、平成 28 年度は黒字であり、赤字がないため算定されません。() 内は H27 年度値

	早期健全化基準	若狭町の比率
実質赤字比率	14.39%	- (-)
連結実質赤字比率	19.39%	- (-)
実質公債費比率	25.0 %	15.1% (14.9%)
将来負担比率	350.0 %	140.2% (140.4%)

実質公債費比率

借入金の返済額およびこれに準じる額の収入に占める割合を指標化したもので、数値が低いほど健全になります。

将来負担比率

借入金や負担等の残高の程度を指標化し、将来町の財政を圧迫する可能性の高さを示すもので、数値が低いほど健全になります。

資金不足比率

公営企業の資金不足額を、料金収入等の財政規模と比較して指標化したもので、平成 28 年度では、資金不足が生じた公営企業はありません。

■資金不足比率

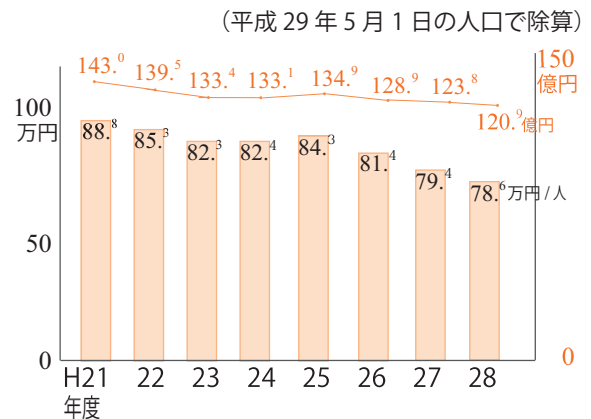
() 内は H27 年度値

会計	経営健全化基準	若狭町の比率
簡易水道事業	20.0%	- (-)
農業集落排水処理事業		- (-)
漁業集落排水処理事業		- (-)
公共下水道事業		- (-)
土地開発事業		- (-)
水道事業		- (-)
工業用水道事業		- (-)
国民健康保険上中診療所事業		- (-)

借金は住民一人あたり約 79 万円

町の借金（地方債残高）は、約 8.8 億円減少し、約 120.9 億円（普通会計）となっています。

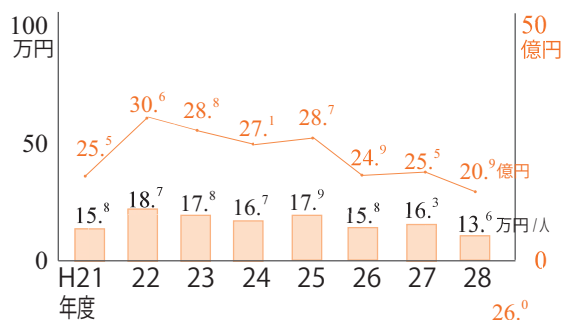
すべての会計（一般会計、11 特別会計、3 企業会計）では、約 194.0 億円となっています。



貯金は住民一人あたり約 14 万円

町の貯金（基金残高）は、約 4.5 億円減少し、約 20.9 億円となっています。

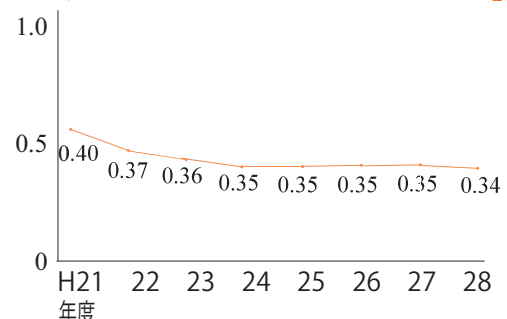
そのうち、目的基金を除いた自由に利用できる基金は、約 7.3 億円です。



財政力指数は 0.34 (3 か年平均)

数値が大きいほど自主財源の割合が高く、自主性の高い財政運営が可能になります。

若狭町は近年横ばいで推移しています。





若狭町には、一般会計のほかに 11 の特別会計、3 つの企業会計があります。

- ◆特別会計…特定の事業について独立した予算で行う会計
- ◆企業会計…地方公営企業法の適用を受けるもので、特定の事業について独立採算制をとっている会計

<p>国民健康保険特別会計 歳入 /20 億 9,689 万円 歳出 /19 億 8,144 万円 若狭町国民健康保険に加入している人の医療費給付などを行う会計です。</p>	<p>漁業集落排水処理事業特別会計 歳入 /3,436 万円 歳出 /3,389 万円 漁業集落排水処理施設の維持管理を行う会計で、常神、神子、小川、世久見地区が対象です。</p>
<p>後期高齢者医療特別会計 歳入 /1 億 6,625 万円 歳出 /1 億 6,623 万円 75 歳以上の高齢者の保険料を徴収するための会計です。支出の大部分は、福井県後期高齢者医療広域連合へ支出する保険料です。</p>	<p>公共下水道事業特別会計 歳入 /5 億 5,576 万円 歳出 /5 億 5,359 万円 公共下水道処理施設の維持管理を行う会計で、三方、海山・塩坂越、熊川、三宅地区が対象です。</p>
<p>直営診療所特別会計 歳入 /9,656 万円 歳出 /9,138 万円 三方診療所の運営費は、診療収入と一般会計からの繰入金でまかなわれ、巡回診療所については、診療収入で運営しています。</p>	<p>町営住宅等特別会計 歳入 /1 億 2,232 万円 歳出 /1 億 1,978 万円 町営・公営・集合住宅の維持管理を行う会計です。主な収入は、住宅入居者の家賃です。</p>
<p>介護保険特別会計 歳入 /19 億 3,144 万円 歳出 /18 億 5,769 万円 65 歳（特定疾病のある人は 40 歳）以上で、介護認定を受けた人の介護に必要な費用の給付や、介護サービスの提供を行う会計です。</p>	<p>土地開発事業特別会計 歳入 /1 億 5,528 万円 歳出 /1 億 2,486 万円 宅地造成・分譲を行う会計で、朝霧団地、若王子団地、上瀬団地、天徳寺団地を分譲中です。</p>
<p>簡易水道事業特別会計 歳入 /1 億 9,919 万円 歳出 /1 億 7,550 万円 主に三方地域を給水区域とする簡易水道施設を維持管理運営していくための会計です。</p>	<p>水道事業会計 収益的収入 /1 億 3,209 万円 支出 /1 億 2,737 万円 資本的収入 /4,616 万円 支出 /1 億 1,415 万円 上中地域（一部を除く）の水道事業を経営するために設けられた独立採算制の会計です。</p>
<p>農業者労働災害共済事業特別会計 歳入 /230 万円 歳出 /140 万円 農業労働による災害を受けた人を救済するために設けられた独立採算制の会計です。</p>	<p>工業用水道事業会計 収益的収入 /5,400 万円 支出 /3,402 万円 資本的収入 /2,916 万円 支出 /2,916 万円 工業用水道事業を経営するための会計で、若狭中核工業団地の 7 企業に工業用水を供給しています。</p>
<p>農業集落排水処理事業特別会計 歳入 /3 億 9,349 万円 歳出 /3 億 9,142 万円 農業集落排水処理施設の維持管理を行う会計で、三十三地区や野木地区など 9 地区が対象です。</p>	<p>国民健康保険上中診療所事業会計 収益的収入 /4 億 9,087 万円 支出 /5 億 7,929 万円 資本的収入 /5,379 万円 支出 /1 億 2,435 万円 上中診療所を経営するための会計です。収入の大部分は、わたしたちが受診して支払う診療費です。</p>